

GIII vol. 135 「モヒカンポシエット 世界でたったひとつをつくる」展

開催報告



モヒカンポシエット 世界でたったひとつをつくる展

2020
7.11 - 8.30
sat sun

熊本市現代美術館 ギャラリーⅢ
OPEN 10:00-20:00(火曜休)

入場無料

※熊本市現代美術館ギャラリーⅢは熊本・九州ゆかりのアーティストを応援するスペースです。

TEL.096-278-7500 〒860-0845 熊本市中央区上通町2-3

—— 入館に際してご協力をお願い ——

・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスク着用、手洗い励行、手指の消毒などにご協力ください。

・熊本市の感染リスク警戒区分に応じて、入館時に検温とチェックシートの記入(氏名・電話番号)をお願いしています。

主催：熊本市現代美術館(熊本市・公益財団法人 熊本市美術文化振興財団) 助成：熊本放送文化振興財団

www.camk.jp

GIII vol. 135 モヒカンポシエット 世界でたったひとつをつくる

会期 2020年7月11日(土) - 8月30日(日)

会場 熊本市現代美術館 ギャラリーⅢ

出品作家 モヒカンポシエット (櫻井貴容子、櫻井栄一)

モヒカンポシエットとは、熊本出身のデザイナーの櫻井貴容子と櫻井栄一による服飾メゾンです。独学で服飾を学んだ櫻井らは、2007年、熊本市中央区新町の築100年の町屋を改装し、同メゾンをスタートさせました。それ以降、バッグやコサージュなどの小物をはじめとして、セミオーダー、また、近年は、海外買い付けの生地をベースにしたオールハンドメイド、1点ものの女性用コスチュームの制作を続け、大手百貨店で展示会を通して、全国に根強いファンを生んでいます。

「貴女がくれた未来だから 貴女の為に作りたいたんだ」と語るモヒカンポシエットは、様々なアートに刺激やインスピレーションを受けながら、世界各地の厳選した生地から、イメージを豊かに女性のための服を生み出しています。

本展では、一歩中に足を踏み入れると、モヒカンポシエットがブランド設立以来、制作してきた作品のアーカイブ写真が、カーテンのように壁を取り囲んでいます。その中央には、制作中に出てきたハギレをベースにした新作の《ドレスの生まれる樹》が天井付近までのび、その脇では《影絵》がドラマティックな風景を作りだします。そのほか、2019年秋冬の《マド》、2020年春夏の《ミシン》など、過去のコレクションの中から選ばれたドレスとオブジェを展示したほか、最新作の《作られた破壊から生まれたドレス》も展示されました。同時に、会場奥には、モヒカンポシエットが会期中アトリエを美術館内に移し、「Made in Museum」と題した公開制作を行い、ここで制作された作品は、美術館の向かいにある鶴屋百貨店のポップアップショップで販売されました。また、8月2日、9日、16日には、実際にモヒカンポシエットが使用している生地を用いてトップスを作るワークショップも行われました。

編集：坂本頭子（熊本市現代美術館教育事業班主査・学芸員）



